

平成31年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
平成31年3月8日（金曜日）

○日時 平成31年3月8日 午前10時49分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 議案第39号 平成30年度網走市一般会計補正
予算中、所管分

○出席委員（7名）

委員長	井戸達也
副委員長	平賀貴幸
委員	栗田政男
	近藤憲治
	佐々木玲子
	山田庫司郎

○欠席委員（0名）

○委員外議員（1名）

副議長	渡部眞美
-----	------

○傍聴議員（6名）

小田部	照
金兵	智則
川原田	英世
永本	浩子
古都	宣裕
松浦	敏司

○説明者

副市長	川田昌弘
健康福祉部長	岩原敏男
介護福祉課長	桶屋盛樹

○事務局職員

事務局長	大島昌之
次長	細川英司
総務議事係主査	寺尾昌樹

午前10時49分開会

○井戸達也委員長 ただいまから文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、議案1件について審査いたします。

それでは、議案第39号平成30年度網走市一般会計

補正予算中、当委員会所管分及び繰越明許費の補正について一括で説明を求めます。

○桶屋盛樹介護福祉課長 追加議案資料3ページを
ごらんください。

平成30年度一般会計高齢者福祉費補正予算、非常
用自家発電設備整備事業補助金の歳入歳出予算の補
正と、繰越明許費の設定につきまして御説明いたし
ます。

1の補正の理由及び内容であります。高齢者福
祉施設が行う非常用自家発電設備の整備に対して補
助するため経費を追加し補正するものであり、また
年度内に事業の完了が見込めないことから事業費の
全額を翌年度に繰り越すものであります。

金額につきましては737万円となります。

これは、高齢者施設等の防災減災対策の推進を目
的とした国の平成30年度第二次補正予算を財源とす
る地域介護福祉空間整備等施設整備交付金を活用す
るものでありまして、要望により協議を進めていた
1カ所の地域密着型サービス事業所に対する交付が
見込まれるため追加補正するものであります。

歳出予算における補正前の額、財源内訳補正後の
額につきましては、2の補正額（1）歳出予算に記
載のとおりとなります。

歳入予算における補正前の額、補正後の額につ
きましては（2）歳入予算に記載のとおりとな
ります。

3の繰越明許費の内訳であります。補正額737
万円の全額を翌年度に繰り越すものであります。

以上で説明を終わります。

○井戸達也委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○山田庫司郎委員 大変ありがたいことで、これか
らもどんどんこういう補助も含めて施設に配置設置
していければと思います。

それで1カ所ということでお聞きをしました。補
助737万円。これは全額補助で賄えるのですか。

それとも持ち出しも含めて施設のほうにあるのか
それをお聞きしたい。

○桶屋盛樹介護福祉課長 今回網走市が、指定権者
となる22カ所の地域密着型サービス事業所に調査を
行いまして、そのうちの一事業者が整備を要望して

きたということでございます。

補助の内容ですけれども、補助上限が737万円とあったことで、その額で事業者が工事を行うものがあります。

○山田庫司郎委員 わかりました。

あとは事業者が選定するなりして、超過分については事業者が出すと。また、737万円より下がる場合もあるということと考えておけばいいのですね。

○桶屋盛樹介護福祉課長 今回事業者から出てきている工事の内容を見ますと、補助条件同額で整備をするというような内容でございましたので、追加もしくはそういったことはないということでございます。

○栗田政男委員 1カ所に700万円の発電機設備ですから、ちょっと概要が見えないのでどんなものをどういうふうに設置するということまで把握しとれないと。

どんなものを何台買うのか、1台が730万円するのかという詳細についてお聞きします。

○桶屋盛樹介護福祉課長 工事の内容でございますけれども、まず単なる発電機の購入といったことではなくて発電機を収める小屋の建設、それと発電機の購入、それに伴う諸経費を含めて737万円といったことでございます。

小屋の発電機室設置が、建築工事といたしまして180万円程度。それと電気設備工事といたしまして発電機の設置、これが410万円程度。発電機の出力につきましては、50キロボルトアンペアということでございますので、相当大きな機械を設置するというような内容でございます。

プラスして、諸経費一式ということで90万円程度。それに消費税を加えまして737万円程度の工事費というようなことでございます。

○栗田政男委員 50キロですからかなり大型の設備だと思います。通常大きな工場等に設置されている非常用電源ということで、内容については納得しましたので結構です。

○平賀貴幸副委員長 今回22カ所を調査された上で1カ所ということなのですけれども、今後新しくできたものを見て、「これはうちの施設にも必要だな」というふうに判断したときに、改めてこの補助金はまだ来年度以降も使える可能性はあるのでしょうか。

○桶屋盛樹介護福祉課長 今回、国の二次補正といったことで、防災減災というような趣旨で増額され

た部分なので、平成31年度こういったメニューが出てくるかわかりませんが、随時そういった情報があれば事業所にお渡しして確認をしていきたいというふうに考えております。

○平賀貴幸副委員長 何らかの支援を必要とする方々が、緊急時に避難する場所を確保しておくことを考えると、1カ所で果たしていいのかなという思いも当然あったと思うのですね。

できあがった場所ですね、後に見学をしていただくなどして「こういうものだ」とわかっていただいた上で、さらにふやしていくということ考えたほうがいいのかというふうに思うのですけれども、それについては状況を見ながら配慮していただきたいなというふうに思います。

それからこの1カ所で、その施設全体をカバーし、施設の利用者さんをカバーすることなのですけれども、例えば地域の方が避難するということはなかなかならないと思いますけれども、何らかのその配慮が必要な方々の避難場所として一つまた新たに考えることもできるのかなという思いもあるのですが、その辺について何か市と業者さんのほうで話をするとか、そんな考え方をお持ちなのでしょうか。

○桶屋盛樹介護福祉課長 今回採択が見込まれる事業所につきましては、認知症対応型のグループホームになりますけれども、入所が18名、通所が15名という定員で実施をしている施設であります。

そして、地域の福祉避難所としての位置づけもございまして、もちろん地域の要配慮者、その方々の避難というようなことも想定した中でこういった設備の設置というふうに考えております。

○井戸達也委員長 ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

それではお諮りをいたします。

議案第39号平成30年度網走市一般会計補正予算中、当委員会所管分については、全会一致の方向により原案可決すべきとして決定してよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それではそのようにいたします。

ほかに、各委員会に理事者側から何かございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

これで文教民生委員会を閉会いたします。

午前10時57分閉会